

社会との関わり

特集

地域とのハーモニー

地域イベントを一緒に育てる

ー児島湖花回廊プロジェクトー



児島湖花回廊について

岡山市の児島湖は、当社の創業者・藤田傳三郎が情熱を注いだ児島湾干拓などによりできた淡水湖です。2007年、DOWAグループでは、ゆかりの深い児島湖の沿岸とその周辺に、地域のサポーターとの協働で河津桜を植樹する「児島湖花回廊プロジェクト」をスタートさせ、これまで4,200本の植樹を行いました。植樹を始めて4年目の2010年、地域の方々とともに早咲きの河津桜を楽しむために「さくらまつり」をはじめました。

第2回 児島湖花回廊さくらまつり

2011年3月6日、深いピンク色のつぼみがほころび始めたさくらまつりの会場には、子供からお年寄りまで約1万2千人もの地域の方々を足運び、ひと足早い春を実感しました。

このさくらまつりは、児島湖周辺の9学区連合町内会とDOWAグループとで作る実行委員会が、企画から運営まですべて自分たちの手で作り上げるイベントです。また開催に際して、岡山県、岡山市のほか地元新聞社やTV局など、

地域から多くのご支援をいただいています。DOWAグループは、地域社会とのコミュニケーションを通じ健全で良好な



関係を築き、ともに地域の発展に貢献できるように努めています。



企画から運営まで自分たちの手で

さくらまつりは地域のイベントですが、1万人以上が参加する規模で、交通や安全、スタッフのとりまとめなど多くの課題があります。DOWAグループと9学区連合町内会の方々と一緒に考え、企画の段階から約半年をかけた一つひとつ準備を進めてきました。

当日は700人以上もの地域の方々スタッフが、また出演者として関わり、模擬店やアトラクション、ステージイベントなどを運営しました。餅つきやばら寿司など趣向を凝らした模擬店は30店舗以上、小さな子供たちも楽しめるように用意されたミニSLや気球体験、スポーツゲームなどのアトラクションも大人気でした。また、地元サークルや子供たちによる「ふじた傳三郎太鼓」や「花回廊音頭」など、ステージで繰り広げられる踊

りや演奏には大きな拍手が送られました。

DOWAグループの岡山各社は、事業について理解を深めていただくために金属リサイクルや金属粉についてパネルや模型の展示を行いました。なかでもバイオディーゼル岡山は、使用済みの食用油と花苗を交換するイベントを行い約300ℓを回収、多くの方々にご協力いただきました。参加者は、実際にバイオディーゼル燃料で動く岡山市のゴミ回収車や精製システムの模型などを目にする事で、エコ活動と環境保全との関わりを実感していただけたようです。

また、当社社員はもうひとつのDOWAのルーツである秋田県名物「きりたんぼ鍋」を提供。比内地鶏やセリなど、本場から取り寄せた食材で作る本格的な味わいが評判でした。



VOICE

ともに長く続けていきたい

植樹が始まってから、地元の小中学校の校長先生からよい取り組みだと感謝されています。子供たちが変わってきた、地域と一体の活動に参加することによって地区の人がいつも見ているという気付きに繋がっている、と言われます。

このあたりは昭和20年代の宅地化から始まった新しい町ですが、もともと助け合うという気風、融和の意識がありました。ただ地区ごとの活動はあっても、他の地区と一緒に何かする機会がありませんでした。さくらまつりは9学区の連合町内会がともに行う初めての祭りです。サークル活動などの発表やコミュニケーションの場にもなっており、皆さんが本当に楽しみにしています。植樹も祭りも自分たちのイベントとして、長く盛り上げていきたいと考えています。



岡山市連合町内会副会長
福島学区連合町内会会長
深井忠夫

地域の誰もが誇れる名所に

今年、花回廊は5度目の春を迎えることができました。地元の方々や行政のご支援・ご協力のおかげで、植樹は4200本を超え、サポーターも3800名に達しました。このプロジェクトでは、植樹後も、植えた人が自主的に管理する仕組みをつくり、桜1本1本にサポーターの名前が書かれたプレートがつけられています。自分の木の成長とともに、育樹地である地域への思いも深まるようです。「これからもっとさくらを植えたい」、「春だけでなく四季を通じて草花が楽しめる花回廊にしたい」、「マラソンやさくらまつりなどのイベントもさらに楽しいものにしていきたい」など、まだまだたくさんの夢があります。地域の皆さんと一緒にこれらの夢を実現させ、この児島湖周辺を地域の誰もが誇れる素晴らしい名所にしていきたいと考えています。



児島湖花回廊
サポーターズクラブ会長
山内憲太郎
(DOWA エレクトロニクス 岡山社)

TOPICS 2010

第1回 児島湖花回廊いきいき健康マラソン



2011年1月30日、花回廊プロジェクトの一環として、河津桜の植樹地を巡るマラソン大会を開催しました。18都道府県から1601人の市民ランナーが参加し、3km、5km、10kmのコースを走破。大会にはDOWA社員のほか、多くの地域のボランティアの方々にご協力をいただきました。

DOWAグループは、これからも地域の方々とのパートナーシップによる地域貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

地球、社会の持続可能な発展に貢献するためには、環境への取り組みとともに、ステークホルダーを重視した経営が大切です。DOWAグループは、グローバル企業として世界の人々や地域の方々から信頼される存在を目指し、事業活動を通じて、すべてのステークホルダーへの価値の提供に努めています。

ステークホルダーとの関わり

DOWAグループでは、各事業所・部門において、お客様、株主・投資家、お取引先、地域社会、社員などの主たるステークホルダーとさまざまな手段でコミュニケーションを実施しています。

主たるステークホルダー	責任	機会
お客様	当社グループの提供する製品・サービスをご利用になる全てのお客様	○製品・サービスの品質・安全確保 ○お客様満足（CS）の追求 ○お客様情報の保護
株主・投資家	当社グループの株主をはじめとする個人・機関投資家	○株主総会 ○決算説明会、投資家向け説明会 ○アニュアルレポートや事業報告書の発行 ○Webサイトでの情報開示
取引先様	当社グループの製品・サービス提供にあたり、協力をいただいているパートナーの皆様	○各種セミナー・展示会 ○工場見学会 ○各種環境広報 ○Webサイトでの情報開示
地域社会	当社グループ各事業所と本業を通じた関わりがある地域社会の皆様	○公平・公正な基準による調達先の選定 ○グリーン調達・環境マネジメント支援
社員（社員・家族）	当社グループで働く社員とその家族	○各種セミナー・展示会 ○工場見学会 ○グリーン調達など取引先様への各種説明会 ○品質・環境監査 ○企業倫理窓口
	○環境保全活動 ○文化・スポーツなどの活動支援を通じた地域振興への貢献 ○教育活動 ○情報開示・対話	○地域の方を対象にした工場見学会 ○地域団体への参加 ○地域イベントの主催・参画・支援 ○リスクコミュニケーション
	○適正な評価・処遇 ○人材の多様性確保 ○ワーク・ライフ・バランスの推進 ○労働安全衛生の確保 ○人材育成 ○人権の尊重	○経営会議 ○労使面談 ○人材教育・環境教育 ○社内報 ○社員の家族を対象とするエコイベントなど

政府・自治体・産業界との関わり

DOWAグループは事業を展開するにあたり、社会的問題の改善・解決のために、政府・自治体や産業界と連携・協力を図っていきます。

公共政策への提言

経営幹部が各種委員会に参加し、公共政策への提言をおこなっています。

【参画の例】

- DOWAホールディングス代表取締役会長 吉川廣和
- 平成19年4月～ 環境省 中央環境審議会 廃棄物・リサイクル部会 委員
- 平成21年12月～ 内閣府 参与
- 平成22年3月～ 内閣府 行政刷新会議議員

業界団体への参画

(社)日本経済団体連合会、(社)日本鉱業協会などの団体に参加し、経済界や業界特有の課題に取り組んでいます。

【参画の例】

- DOWAホールディングス代表取締役会長 吉川廣和
- 平成16年6月～ (社)日本経済団体連合会 常任理事
- 平成19年4月～ (社)日本経済団体連合会 環境安全委員会廃棄物・リサイクル部会 部会長
- 平成22年10月～ (社)日本経済団体連合会 中国循環経済促進タスクフォース 共同座長

国際機関・国際コンソーシアムへの参画

DOWAグループは、は2009年3月より、国連が提唱する企業の自主行動原則である「グローバル・コンパクト」に参加しています。社会の持続的発展に向けて、グローバル・コンパクトの掲げる「人権・労働・環境・腐敗防止」の4分野における10原則を尊重し、確実に実践していくよう取り組んでいます。

○グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク <http://www.ungcjin.org>

社会からの評価

DOWAグループは、メディアや関連団体から以下のような評価を得ています。

【2010年度の主な受賞・表彰】

- 2010年5月 インドネシア政府 National Safety Award for ZERO Accident PPLi
- 2010年6月 環境省 環境保全功労者表彰 DOWA HD 会長 吉川廣和
- 2010年6月 国土交通省 まちづくり功労者国土交通大臣表彰 DOWA HD
- 2010年6月 全国産業廃棄物連合会 優良事業所表彰 エコシステム山陽
- 2010年7月 秋田労働局 秋田労働局長優良賞 DOWA セミコンダクター秋田
- 2011年3月 日本鉱業会 日本鉱業協会賞受賞 秋田製錬



エコシステム山陽

地域社会との関わり

DOWAグループでは、社会の一員として地域に貢献し、ともに発展していくためにさまざまな取り組みを進めています。国内外の各拠点では、植樹祭や地域の緑化事業への参加、工場見学の

受入れ、スポーツ振興など、それぞれが地域に根ざしたCSR活動を積極的に展開しています。

TOPICS 2010 校外学習の受け入れ

岡山県美咲町で鉱排水の処理事業を行う卯根倉鉱業では、地域の一員として社会とのつながりを大切にするため、工場見学を積極的に受け入れています。

2010年12月、地元柵原中学校の校外学習の一環として1年生45名が工場見学に訪れました。当日は、水処理設備の見学や、エコ商品である処理残土を利用した黄福レンガの製作などの取り組みを紹介しました。また、生徒の方々に「水の大切さ」について関心と理解を深めていただくために、実験教室を行いました。後日、柵原中学校より、見学の感想をまとめたレポートをお送りいただきました。レポートは心のこもった手書きのメッセージで、実験への驚きや水の大切さを知ったことなどが丁寧に記されていました。今後もこのような地域に根ざしたCSR活動に取り組んでいきます。

